

「Noetra」始動：日本が仕掛けるフィジカルAI逆転劇

国産マルチモーダルAI基盤モデル開発の司令塔、2026年6月設立

5年間で1兆円規模の国家支援
(経済産業省・NEDO主導)

通信・インフラ
(ソフトバンク、NEC)
巨大計算基盤(頭脳)と
5G/6Gネットワーク

センシング・機器
(ソニー、ホンダ)

イメージセンサー(相模)と
ロボティクス(四肢)

重工業・金融
(日本製鉄、3メガバンク)

現場の韌性データ(遡躰)と
強靱な資本力(血液)

業界の垣根を超えた強力な出資陣

通信、製造、モビリティ、重工業、金融の
巨頭がデータと資本を持ち寄り参画

産総研との強力なタッグ

(Noetraの計算資源×産総研の基礎研究)
理論と実装の築き橋を構築



テキストLLM
(文字情報のみ)



「世界基盤モデル」へ
(音・画像・センサー等の多様なデータを統合)



リンゴは落ちる



ガラスは割れる



直感的な物理法則(Intuitive Physics)の獲得

Noetra(ノエトラ)



日本の強みを活かす
「エッジAI」



クラウド依存を脱却し、省電力かつ低遅延で
現場を動かす国産モデルの確立